

秋田市の先人たち

復古神道の大成者

平田篤胤

安永五（一七七六）年生

天保十四（一八四三）年没

中谷地町（現、中通四丁目）生まれ



主な事蹟

江戸で独学で国学を学び、本居宣長のいわゆる没後門人となり、文化九（一八一二）年、「**靈能真柱**」を表して、古伝説を再編し、独自の神道論を打ち出した。以後、精力的に著作活動を続け、**神官・豪農**を中心に受け入れられ、門人も増加した。平田国学は、幕末の**尊王攘夷**運動に大きな影響を与え、明治維新後も**国家神道**を支えるものとして**揚げ**された。